



お江戸舟遊び瓦版 1058号

水彩都市江東 ころも美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

被爆 80 年に向かって被爆者の願い

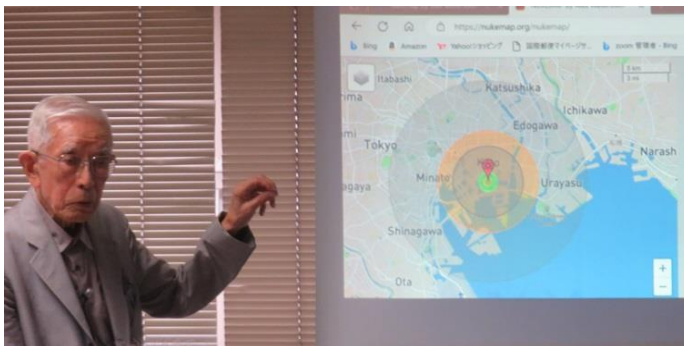
「核兵器をなくして！」

日時：24.10.6 10：30～11：50

所：江東区産業会館

講師：平田道正

- ・ 広島に生まれ、9歳の時に、爆心地から2.1kmの自宅^で被爆。
- ・ 私の核兵器に対する活動は、隠れ被爆者だった先輩を見習い、**定年前から**地元の活動をはじめた。被爆者運動から始め、米・英・独・NZ・イスラエルなど国内外で核兵器廃絶を訴え、被爆証言を行ってきた。5万人以上のNYの高校生を対象にした核軍縮教育を行っていたNGO **Hibakusha Stories** に加わり、ピースボートの地球大学の**水先案内人**として、船上や寄港各地で証言と共に**シンポジウム**などに参加してきた。



1. 原子爆弾・核兵器

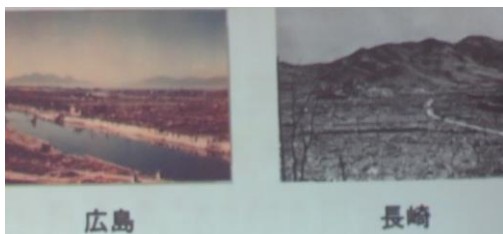
- ・ 世界で初めて核実験に使用：①**広島ウラン型**、②**長崎プルトニウム型**
- ・ 45年～52年9月まで7年間、連合国は原爆に関し**報道規制**（プレスコード）とし、1952年に初めてアサヒグラフが被害情報を公開した。その間、伝染病の噂も流れ、就職・結婚・出産などで**差別**があった。



2. 原子爆弾と通常兵器

原子爆弾：広島・長崎；**広域焦土化**、

通常兵器：ミサイル、ドローン等；**限定被害**



3. 被害の大きさ： 死者数：広島；14万人、 長崎；7万入
被害範囲：500m；全滅、 2km；建物全滅・火災・火傷、 4～5km；半壊・ガラス破損
広島（デルタ三角洲地帯）と 長崎（盆地）の**地形の違い**が被害に差をもたらした。

4. 被害の種類が多さ： その特徴に多様性と同時性がある。

- 1) 熱戦「ピカッ」： 焼け死、 火傷、 火災
- 2) 爆風（衝撃波）：「ドン」骨折、切り傷、家屋倒壊（圧迫焼死）
- 3) **新しい被害（放射線）**：脱毛、出血、白血病、原爆ブラブラ病、胎児に奇形・障害（小頭症）**晩発性放射線障害**；79年後の今でも、白血病・ガンなどの病気の発症率が高い。



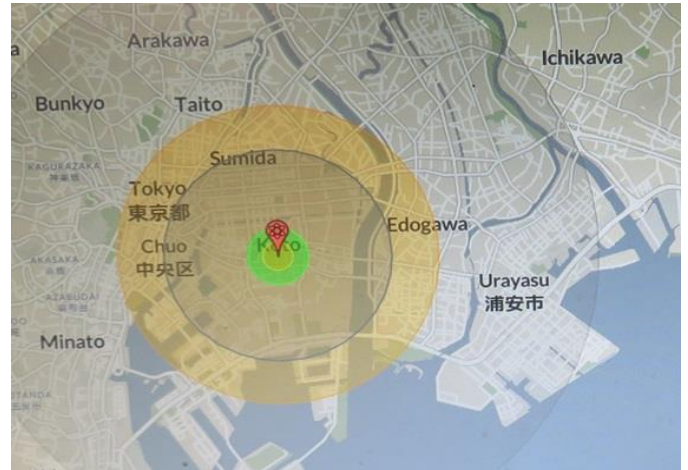
5. 核兵器の現状

- 1) 世界の核兵器保有国：米・ロ・英・仏・中・印・パ・北朝鮮・イスラエル
- 2) 現状の核兵器は、**広島型の10～1000倍の威力**、**現役核弾頭数は9583発**、
- 3) ロ・中・北朝鮮を中心に世界で**核の拡大が進行中**。長崎大では、世界の核弾頭数を発表、**退役・解体待ちを含め2024年の世界の核弾頭数は12120発**である。



6. 江東区に広島型 10 倍の原発が落とされたら

- Alex Wellerstein NUKEMAP (右図) によると
 - ① 180m : 火球蒸発
 - ② 340m : コンクリート破壊、死亡
 - ③ 1.2 km : 致命的放射能を浴びる
 - ④ 1.91 km : 住宅破壊、3 度火傷
 - ⑤ 4.52 km : ガラス破損、切り傷と**厳しい状況**が予測されている。
(地元江東区の予測は身に染みる！)
- このマップは**どこの地点の予測も可能**となっているので、自分の地域も試して欲しい。



7. 核なき世界への国際社会の動き

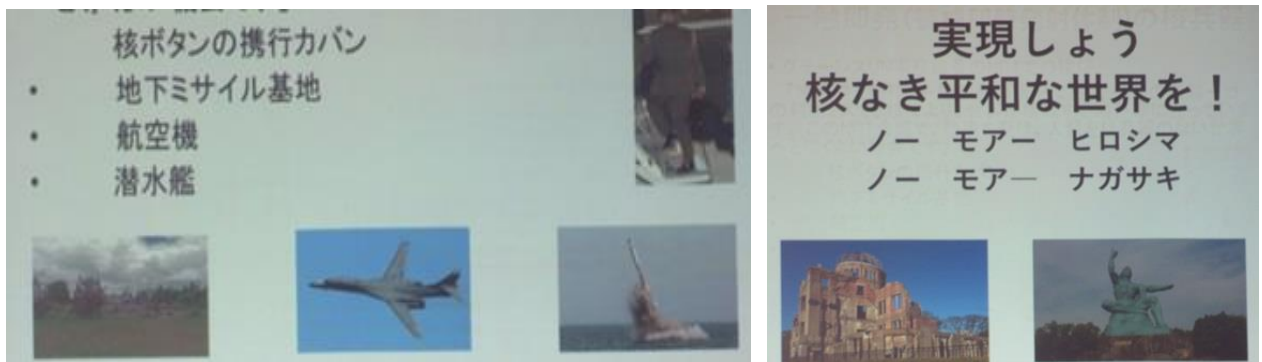
- 1) 1946 年 1 月の**第 1 回国連総会の第 1 号決議**は、「原子力の発見によって提起された問題に対処するための委員会の設立」で、現在の **IAEA** に至っている。
- 2) **NPT (核不拡散条約)** : 核関係の憲法とも言える。191ヶ国加盟。米・英・仏・ソ・中 5 カ国は核軍縮義務を負って核兵器保有国と認められ、その他の諸国は、原子力の平和利用は認めるが、核兵器を持たない非核保有国と規定。インド・パキスタン・イスラエルの 3 カ国は、条約に加入せず、北朝鮮は脱退。
- 3) **核兵器禁止条約**

核保有国が軍縮義務を果たさないので、**しびれを切らした非核保有国**が、非人道的大量兵器である**核兵器を禁止する条約**を提案、**2021 年に発効した**。現在、署名国 92ヶ国、締約国 73ヶ国。米国などの核保有国とその傘下にある NATO、日韓豪などは次期尚早として、反対で不参加。締約国会議にオブザーバー参加する国があるが、**日本は不参加**。

4) 一触即発 (警戒即時発射体制) の核兵器

- **グテーレス UN 事務総長の NPT** での挨拶

「冷戦時と同様、一触即発の状況にあり、一つの誤解一つの判断ミスで、核により**世界が壊滅する瀬戸際**に立っている。この NPT 会議で、惨事を避け、人類を**核兵器のない世界**へと導く良い機会である。」



8. 被爆者の願い

- **次世代の人が核廃絶運動を引き継ぎ**、世界から**核をゼロ**にして欲しい。
若い人々が周囲へ話して伝えるとともに、**積極的参画**を祈念したい。

所感 : 自らの被爆、30 年以上の活動を踏まえた講演は、深く胸を打つ内容だった。

戦後 80 年を迎え、忘れがちな被爆の厳しい現状を詳細な画像などと木目細かな言葉で説明頂き、当時の状況とこれまでの課題、今後の課題などを知ることとなった。ややもすると忘れてしまいかねない**戦争の問題点**など今後とも**学んでいく**ことの大切さを痛感させられた。(文責 中瀬)